

題字は駒井区社協会長

あけまして
 おめでとぅなげ、らます

城東区地域福祉アクションプラン 誰もが安心して暮らせる まちづくりをめざして、 ただいま、計画案の策定中です。



アクションプラン作業委員会のような

アクションプランの策定に向けて

城東区では平成17年3月に、城東区のアクションプランの目標や仕組みづくりを考える策定委員会(委員27名)が立ち上がり、平成18年3月のアクションプランの策定をめざして、平成18年1月現在までに2回委員会を開催しています。

また、具体的にアンケート調査やワークショップなどを行って課題を抽出し、その課題に対する方策や方針を検討し、プランの骨組みを作っていく作業委員会も5月から動き出しました。

城東区地域福祉アクションプランとは

地域福祉の理念のもと、誰もが安心して「住んでいてよかったなあ」と思える城東区を、住民主体で作っていく行動計画です。

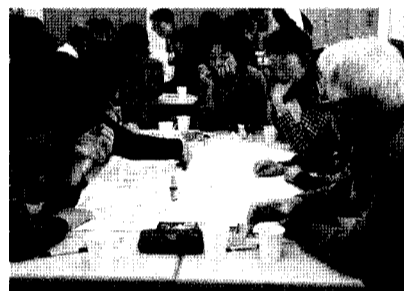
細かい課題抽出をめざして

作業委員会は、さらに細かい課題抽出をめざし、下記の3つの部会に分かれています。

- ①地域部会…それぞれの地域での課題やいいところを再確認し、アクションプランの中核的な役割をめざします。
- ②事業所部会…城東区内にある、さまざまな福祉施設から見た地域について、また区民や地域から見た施設のあり方を考えたアクションプラン作りをめざします。
- ③市民活動・NPO部会…ボランティア・NPO関係者から活動のあり方や課題を抽出し、アクションプランづくりにつなげていくことをめざします。

現在は、これらの3つの部会が、それぞれに必要な部分については協力しながら、部会長・副部会長を中心にミニ部会を開き、課題抽出のためのアンケート調査の実施やワークショップなどの開催を行っています。

今後は、さらにアンケート調査やワークショップを進めて多くの課題を抽出し、全体の作業委員会で取りまとめます。最終的には、今年3月にそれらの課題に対する方策や方針作りをめざしています。



市民活動・NPO部会のワークショップでは、ボランティアさんも多く参加



地域部会、事業所部会のような



社会福祉法人 大阪市城東区社会福祉協議会会長
駒井信義

新年あけましておめでとうございます。
 平素は、当区社会福祉協議会の諸事業に対し、温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、国では介護保険制度の改正や障害者福祉施策の見直し、さらに次世代育成支援対策の推進など、社会福祉に関する改革も相次いでおり、制度・予算両面において社会福祉協議会を含む社会福祉の現場に大きな影響を与えつつあります。

当区におきましては、このような時代の変化・ニーズに対応していくためにも、従来の事業に加え、本年度より地域生活支援事業や地域支援活動推進事業、さらにはあんしんさぽーと事業など、微力ながら新規事業にも取り組んでいるところです。さらに「福祉のまち城東区」を推進していくには、地域や区民の方々の支え合い、助け合いなど、皆様の果たす役割が重要になります。そのような意味においても、現在取り組んでいる地域福祉アクションプランを実行性のあるものとし、策定後のプランを確実に推進・サポートしていくことが社会福祉協議会の大きな役割であります。

今後とも、皆様方のますますのご協力、ご支援をお願いいたしますとともに、ご健康とご多幸をお祈りいたしまして新年のご挨拶といたします。

「福祉のまち城東区」を
 めざして



城東区長 **高原正典**

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、ご家族ともどもお健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

平素は、市政・区政の各般にわたり格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

現在、社会福祉をとりまく情勢は、複雑多様化しています。この中で、誰もが自分らしく安心して暮らせるまちを区民の皆さん、行政、地域に関わる全ての方が支えあい、作りあげていくことが重要となっております。

地域福祉の向上のため、社会福祉協議会を中心として、各種団体などと連携を図り、今、進めています地域福祉アクションプランを現実のものとし、また、透明性をもったスピーディーな区政を行い、市民に信頼される「新生・大阪市」「城東区」を目指し、全力で取り組んでまいります。

今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしく願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

ぬくもりのある、
 透明性をもった手作りの
 やさしいまちづくりに向けて

評議員(会計)

評議員 顧問 監事 理事(会計)

理事 副会長

役員一同

- 吉野博昌(順不同) 吉國登美男 行田一典 山口米子 矢田喜彦 森田忠恵 松葉常子 服部光彦 橋本利昭 橋本頼明 春木重光 沼野博至 中野英一 中野亮一 中野紀三 出野弘三 田中勝己 多田親正 高田輝雄 高島忠勝 高木松雄 鹿田信義 駒井信美 小井種美 久保武嗣 木村邦彦 川崎哲彦 川崎平彦 片岡潤一 小田野一 岡本義雄 岡田須美子 浦田榮子 岩永喜規 伊東允二 石原正美 碓方正逸 新瀨正彰 高田正典 浅田正典 岡村正典 塩川正典 安地正典 森山正典 宮地正典 藤川正典 東海正典 出利正典 貞利正典 河村正典 奥村正典 梅田正典 松岡正典 後藤正典 吉田正典 駒井信義

あんしんさぼーと事業 (地域福祉権利擁護事業)

安心して生活できるよう、
福祉サービスの利用援助や金銭管理などをサポートします

城東区社会福祉協議会では、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分な方や、金銭管理に不安のあるひとり暮らしの高齢者を対象に、福祉サービスなどを安心して利用いただくためのお手伝いや金銭管理や支払い手続きの代行などを行っています。

【利用できる方】

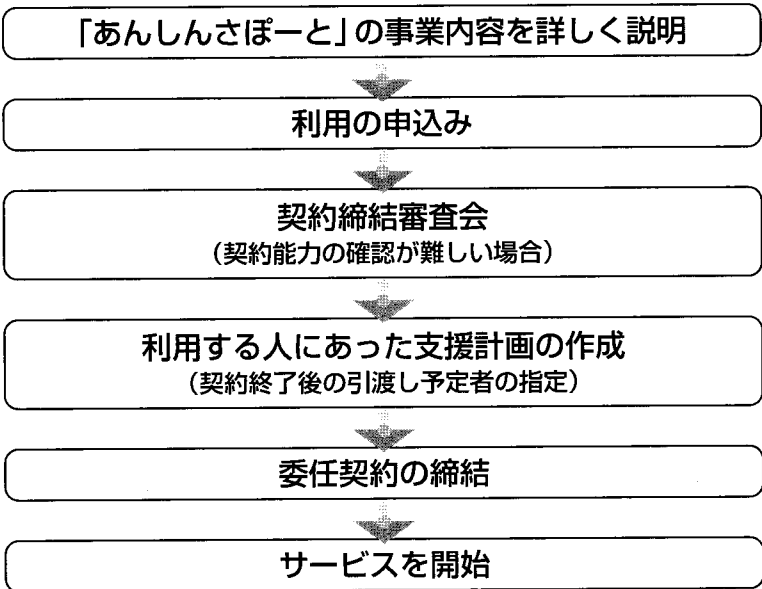
- 認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分な方、金銭管理に不安のあるひとり暮らしなどの高齢者
- 大阪市内(城東区)にお住まいの方
- 契約時に意思の確認ができる方

【サービス利用料】

- 契約締結時の手数料2,500円
 - 訪問サービス1回 400円
 - 預かりサービス年間3,000円(月250円)
- ※ただし、低所得者の方には、利用料などの免除があります。

■問合せ・申込み：城東区社会福祉協議会 ☎6936-1133

【サービスを受けるまでの流れ】



サービス内容

福祉サービスを利用したいけど、
複雑な手続きは難しい

「福祉サービスなどの利用援助」

サービス利用に関する情報の提供や相談、利用の申込み、契約の立会いなどをお手伝いします。

- 利用に関する情報の提供、相談
- 利用における申込み、契約の立会い、代行など
※医療機関、施設への入院、入所は除きます。
- 福祉サービスの苦情を解決するための制度の利用手続きの援助

銀行のお金の出し入れや医療費などの
支払いがうまくできない

「金銭管理サービス」

預貯金の出し入れや家賃・公共料金の支払いなど、金銭管理や支払い手続きを代行します。

- 預貯金の出し入れ
- 家賃や公共料金、福祉サービス利用料、医療費などの支払い
- その他の金銭を要する手続きの代行

通帳や印鑑をどこに置いたか、
すぐに忘れる

「預かりサービス」

預貯金通帳や有価証券、証書類、クレジットカードなどをお預かりして、紛失や盗難を防止します。

- 預貯金通帳の預かり
 - 有価証券(債券)などの預かり
 - 証書(保険証書・契約書・遺言書など)の預かり
 - キャッシュカード・クレジットカードなどの預かり
- ※宝石、貴金属、書画、骨董品などは預かりません。



遠足で出かけた天王寺動物園で

全国的に少子化が進むなか、
 鳴野地区では年々、子どもの数
 が増え続けている。地区内に
 次々とマンションが建設されて
 いるからだ。そうしたなか、約
 10年前に「よその子もうちの子
 もみんな大切」を合言葉とする
 自主的な子育てサークルが発足
 した。情報交換や行事を行うな
 ど一緒に育児をすることで、子
 育てへの不安や悩みを軽減する
 ことを目的としたものだが、自
 主的な活動ゆえに、会場の確保
 などの課題も多かったという。

そこで鳴野連合町会に相談し
 たところ、会館を無償で利用で
 きるようになったほか、現在は
 鳴野地区主任児童委員の萩原博
 子さんと原田睦美さんが活動を
 サポートしている。代表の和田
 恵美子さんは「一時は会員数が
 80人を超え、公園に20〜30人が
 集まって活動をして注意された
 こともあります。たくさんの人



地区の温かい目に支えられての、「子育てサロン」活動

鳴野校下社協



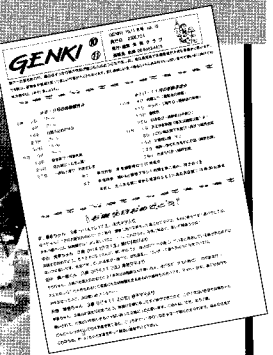
サークルへの会館の無償提供などを決めた鳴野社会福祉協議会 梅田会長

幅も広がりました」と語る。

鳴野社会福祉協議会会長であり、
 鳴野連合町会会長でもある
 梅田晋次郎さんは「昔から鳴野
 地区は、住民同士の交流を大切
 に考え、行事などに熱心に取り
 組んできました。子育てしてい
 るお母さんたちが困っているの
 なら支援させてもらおうという
 ことになったわけです。地区の
 運動会には幼児用プログラムも
 あり、若い世帯のご家族が多く
 参加していますよ」。鳴野地区
 で、新旧の住民の交流がうまく
 いっているのは、梅田会長らの
 「みんな、城東区の子やないか」
 という温かく地域を見つめる目
 があってこそよかった。



夕涼み会で、お父さんの出番づくりを



月に1回、活動のようすをまとめた会報を発行

総合的な「地域支援システム」の再構築を 高齢者も、障害のある方も、子育て支援のことも 一体的に取り組むことになりました

大阪市では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることをめざして、これまでの「高齢者のための地域支援システム」の枠組みをはずし、高齢者に限定しない、障害者支援、子育て支援も含めた総合的な「地域支援システム」を作り直すことになりました。

それにともない、地域福祉の核となる地域ネットワーク委員会の活動推進のための事務局が城東区社会福祉協議会に設置されました。

そこで今号では、地域ネットワーク委員会の中でも私たちに身近なところで活動を進めている保健・医療・福祉ネットワーク推進員さんをあらためてご紹介しましょう。まちで見かけたら、気軽に声をかけてくださいね。



あらためまして、地域福祉を進める、 わたしたちのまちの「ネットワーク推進員」さんです

諏訪地区ネットワーク推進員

榎部豊久子さん



諏訪地区では、認知症予防に力を入れた活動していますが、その参加者の方々からまちで声をかけられると嬉しいです。推進員になって、日頃から地域のおとしよりのことが気に掛かるようになりました。生活環境がそれぞれ違うので、その方に何が必要なか、どう関わるべきなのかに注意しながらお役に立てたらと思っています。

鳴野地区ネットワーク推進員

高橋千恵子さん



連合会長の推薦で推進員になりました。地域のおとしよりや子どもさんにも声をかけようになり、より親しくなることで、さらにいろいろな講演会や行事に参加したいと思うようになりました。今後も一人でも多くの方が地域で楽しく暮らせるよう、元気、勇気、笑顔を心がけて頑張りたいと思います。

関目地区ネットワーク推進員

吉村久枝さん



これまでに印象に残っているのは、パーキンソン病と軽い認知症を患っていた方がホームに入られる際、ホーム探しから入所までのすべてのお手伝いをした時のことでしょうか。私は両親を早くに亡くしているので、おとしよりは寝たきりにならず、健やかに自分らしく暮らして欲しいと願いながら、活動をしています。

中浜地区ネットワーク推進員

葛本 清さん



以前から七町会の役員として地域に関わってききましたが、推進員になってからは連合の各町会や女性会、老人会、社協など各関係機関と関わるようになり、幅広い視野で活動するようになりました。お子さんからおとしよりまで誰にでも声をかけ挨拶することを心がけています。

聖賢地区ネットワーク推進員

村田節子さん



以前にボランティア活動に参加していた経験があることから推薦されました。当地区は町会が多く、またおとしよりも多いため、以前には「おでかけネット相談室」としてスタッフが近くの会館まで出向いて相談を受け付けたこともあります。今は、日頃から気軽におしゃべりのできる場があったらいいなと思っています。

関目東地区ネットワーク推進員

伊藤富美子さん



ネットワーク推進員になってから、多くの方々と関わりを持つようになり、広い気持ちで地域を見つめるようになりました。常に明るい笑顔で、相手の立場に立って接するよう心がけながら、少しでも多くの方々が元気で幸せに過ごしていただけるよう、地域に貢献できればと思っています。

森之宮地区ネットワーク推進員

宮上美奈子さん



親族に病気のことを隠して入院された一人暮らしのおとしよりの症状が悪化した時に、私が親族を捜して会っていただきたくてあります。ご本人にも喜んでいただきましたが、日頃から地域でのコミュニケーションの大切さを教えられました。今後は世代間交流ができ、地域での人と人とのつながりが活発になればいいなと思っています。

今福地区ネットワーク推進員

菅田圭子さん



連合町会長に推薦いただき、推進員になりました。日頃は、おとしよりの気持ちになって行動することや、いつも笑顔で気持ちよい挨拶することを心がけています。今後も、「今福に住んでいる」と胸を張って言ってもらえるような地域でありたいと思っています。

董地区ネットワーク推進員

北尾俊子さん



ネットワーク推進員になり、いろいろな方と交流できたおかげで、地域の歴史などをより知ることができました。笑顔で挨拶、プライバシーは守る、解決のために精一杯尽力するの3点を心がけており、これまでも多くの人と一緒に考え、企画し、活動の輪を広げてきたことは大きな喜びです。

東中浜地区ネットワーク推進員

上堀榮子さん



介護保険の導入前のことですが、寝たきりのおとしよりの介護をお手伝いしたことがあります。認知症のおとしよりを夜中じゅう、探し回ったことも今では懐かしい思い出。推進員になってから、さらに人間が好きになりました。これからも、挨拶、笑顔、親切を忘れずに頑張っていきたいと思っています。

放出地区ネットワーク推進員

大谷佐地子さん



受けた相談について、区役所につなぐことで早く解決でき、「ありがとう」ととても喜んでいただけた時は嬉しかったです。行事の運営は大変なことも多いですが、参加された方の楽しそうな顔を見ると、また頑張ろうという気持ちになります。これからも自分自身の健康管理にも気を付けて、少しでもお役に立てたらと思います。

榎並地区ネットワーク推進員

青山佳代子さん



ネットワーク推進員になったばかりの頃、ひとり暮らしの82歳の女性の方が悪質な訪問販売を受け、ローンも組まれたという連絡が入りました。すぐにクーリングオフの手続きを行って事なきを得ましたが、こうした相談ごとにはネットワーク委員長や民生委員の方にも連絡を入れ、連携して対処するようにしています。

城東地区ネットワーク推進員

上出晶子さん



以前、クモ膜下出血の後遺症がありながら、一人でさまざまな支援を受けつつ子ども二人を育て上げられた方がいました。やがて、結婚した娘さんと同居することになり挨拶に来られた時は本当に嬉しかったです。何もできない力不足に悩むばかりですが、まずは相談に来られた方が安心していただける対応に努力していきたいと思っています。

鯉江地区ネットワーク推進員

中野弘美さん



地域の方が、詐欺に遭いそうになった方に「ネットワーク推進員さんに相談した方が良い」とおっしゃってくださって、詐欺を未然に防げた時は嬉しかったです。今、健康づくりのためにグランドゴルフをしています。その他にサークル活動のようなものも支援していきたいと考えています。

成育地区ネットワーク推進員

越智君夫さん



ふれあいまちづくり講演会を開催するにあたっては、講師の依頼など苦労することもあります。参加された方々から「良かった」とねぎらいの言葉をいただくのが何より嬉しいですね。ネットワーク推進員になって5年。地域の方から相談ごとも多くいただくようになり、お手伝いさせていただいて良かったと喜んでます。

同じまちで、すぐそばで

ボランティアビューローだより
TEL 6936-1133 FAX 6935-8737
ボランティアビューローだよりは、ボランティアビューローと地域の皆さんをつなぐ情報コーナーです。

スポーツが大好きで、ボランティアに関心のある方を大募集！ 「障害者スポーツボランティア講座」を開催します

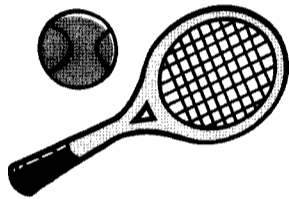
障害のあるなしに関係なく、日常的にスポーツが楽しめる社会をめざして、「障害者スポーツボランティア講座」を開催します。

幅広いスポーツボランティアの育成や理解・意識の向上をめざします。スポーツが大好きで、ボランティア活動に興味のある方はぜひ、ご参加ください。詳しくは、下記の通りです。

障害者スポーツを学ぶことによって、

| | 日時 | 内容 | 場所 |
|-----|---------------------|----------------------------|-----------------------|
| 第1回 | 1月21日(土) 午後2～4時 | 車いすテニス国際大会の 出場者による講演 | 城東区在宅サービス センターゆうゆう |
| 第2回 | 1月28日(土) 午後2～4時 | 障害者スポーツ概論 | 城東区在宅サービス センターゆうゆう |
| 第3回 | 2月18日(土) 午後1時～3時 | 国際親善車椅子バスケット ボール大阪大会を観戦 | 大阪市中央体育館 |
| 第4回 | 2月25日(土) 午後1時～4時 | 障害者と共にスポーツの 実技体験および施設見学 | 大阪市長居障害者 スポーツセンター |

- 受講料：無料
- 定員：20名
- 締切：平成18年1月10日(火)
- 申込み：城東区ボランティアビューロー
☎6936-1133



「第1回 城東区ボランティアグループ連絡会」を開催 ボランティアグループの情報交換と交流の場に

以前から要望の高かった「城東区ボランティアグループ連絡会」が昨年9月17日に初めて開催されました。この連絡会は、城東区ボランティアグループの情報交換の場を持つことを目的としているもので、今後も年に数回開催する予定です。

第1回連絡会には、16グループ39人の参加があり、まず相互に、各グループのメンバーや活動内容の紹介を行いました。また、連絡先の名簿を作成するかどうかを今後の検討議題とすることや、アクションプランへの協力をお願い、ボランティア保険、助成金など



などについての連絡を行い、次回からは個々のグループの活動内容を詳しく紹介し合うことになりました。次回は、今年2月に開催予定です。

情報交換や交流の場として期待の高まる「第1回 城東区ボランティアグループ連絡会」の様子

ボランティア募集中！ あなたもできるところから、始めてみませんか？

城東区ボランティアビューローでは、講座などの他にも、ボランティア活動の相談や情報提供、一般相談など、さまざまな活動を行っています。一人でも、今日からでもできることはたくさんあります。年齢、性別、資格などは一切問いませんので、お気軽にご相談ください。

●活動例

- 施設(高齢者、障害者、児童など)でのお話相手やお手伝い
- 病院への付き添いや外出のお手伝い
- 子どもの遊び相手や保育所への送り迎え
- 施設での食事づくりのお手伝い(調理補助)

おもちゃ図書館「トライアングル」

お世話されるばかりでなく、 人の役にも立てる喜びを子どもたちに



楽器を使っでの演奏では、観客の皆さんも参加して盛り上がった

おそろいのTシャツを着た子どもたちが、イキイキと楽しそうな顔で、観客の前で元気に歌い踊っている。おもちゃ図書館「トライアングル」が、今回初めて開催した「第1回 はぐくみコンサート」でのひと風景です。

おもちゃ図書館とは、ハンディを持っていたり発達に遅れのある子どもたちが楽しく遊ぶことができるようにという願いから始まったボランティア活動。城東区で活動する「トライアングル」は1999年9月に設立されました。代表の藤澤千代子さんご自身も、ダウン症と自閉症の子どもを抱えるお母さん。設立のきっかけについて「ハンディを持ったお子さんのお母さんたちは、公園に行く

のに気後れしたり、行ってもいろいろと質問されるのがつらい方がたくさんいらっしゃいます。一方で、子どもたちを遊ばせたい、お友だちを作ってあげたい、自分の辛い話も誰かに聞いて欲しいと思っているんです。そこで、そういう場を城東区に作れないかと考えました」と話されています。最近のメンバーの多くは、自閉症の子どもを持つお母さんたち。月1回の活動日は情報交換の場であり、また互いに癒し癒される場になっているのです。

今回、第1回コンサートを開催されたことについては、「ハンディを持った子どもたちのお母さんは本当に大変で、そうそう前向きに考えられないこともあります。しかし、そうではなくて(ハンディを持った)〇〇ちゃんて良かったねという気持ちを育てたいし、また『産んでもらってありがとう』と言ってくれるような子どもに育てたい。そこで、いつもお世話されるばかりの立場から、自分たちも人の役に立てるんだということを体感してほしい。まずその一歩として今回のコンサートを企画しました。そして、それが本当に大切なことなんだということを、今日の子どもの表情を見て実感しましたね」と藤澤さん。

そして、こうした活動に欠かせないのがボランティアさん。親以外の大人とのコミュニケーションをとる訓練のためにも大切な存在です。今回のコンサートには子どものボランティアを募り、いっしょに作り上げてもらいました。今後は、コンサートの定期的な開催とともに、施設に訪問して回ることが夢だそうです。

城東区内で活動する手話サークルの方々に指導を受けて、手話付きの歌も披露

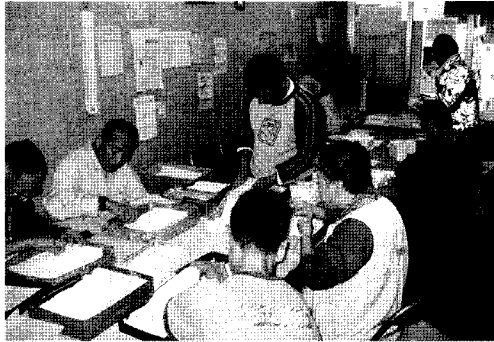


「第4回わくわく子育てフェスティバル」にも参加

城東区内で活動する小さなグループ、組織を紹介します。

一歩一歩を、ともに。

まちの中で、 障害のある人があたりまえに働き、 あたりまえに暮らすことの 大切さを伝えて……………小規模通所授産施設「創奏」



創奏で作業をするみなさん

城東区中央にある小規模授産施設「創奏」を訪ねると、たくさんの元気な笑顔に迎えられた。社会福祉法人そうそうの杜が運営する小規模授産施設は3カ所。その中でも創奏は、ホームページによれば「ワイワイがやがや、にぎやかに仕事をしっかりやる」施設だとか。毎週月曜から金曜までの毎日、午前10時から午後4時まで、企業からの

下請作業を中心に、マンションの清掃請負や配食サービスの配達請負もやっている。スタッフの富吉弘史さんは「作業所での活動にとどまらず、企業への就職に結びつけていきたいけれど、なかなか難しい」と語る。そうしたなか、昨年9月に、城東区内の企業からお風呂の湯沸かし器の組み立てを受注した。自分たちがどの部分に関わったのかよく見えないこれまでの作業と異なり、この製品についてはほぼ最終製品までの一連の作業をすべて委託されている。「みんなの自信につながると思うし、何より工賃が高いので、こうした仕事が増えていくと利用者の経済的自立につながっていくので、この仕事を軌道に乗せたいと考えています」と富吉さん。しかし、まずはスタッフが作業を覚えてなければと、とりあえず与えられた1か月500台のノルマを果たす



創立メンバーの荒川さん(右)と吉見さん。障害のある人たちが地域の中でいきいきと暮らせることをめざしている

べく奮闘中。その中で、利用者が作業しやすいよう、手作りの小道具も段ボールなどで製作している。

1階でわいわい作業を進めている利用者の一人、渡辺敏治さんは創奏のムードメーカーらしく、その明るい笑顔にまわりには笑いが絶えない。「ここで、みんなと一緒に仕事をしているのが一番楽しい」と毎朝、作業所には一番にご出勤。スタッフの小澤奈津さんによれば、昼食時にお茶を入れたり、ゴミ出しなども率先してお手伝いされるという。また、8年前から通っているという森田千恵さんの楽しみは、みんなで行くカラオケと、その後のファーストフード店でのランチだ。

このように、地域の中で障害のある人があたりまえに仕事をして、あたりまえに暮らしていることが大切なんだと語るのは、社会福祉法人そうそうの杜の創立メンバーである荒川輝男さんと吉見あづささん。特に吉見さんは、平成7年、創奏がまだ無認可作業所として、利用者1名で開所した時からのスタッフである。「机もイスも拾ってくるころからのスタートでしたが、それが楽しかった。今は法人化して、現場でみんなと一緒に作業する機会が減ったのが寂しい」と語る。

現在、そうそうの杜では、小規模通所授産施設(創奏・座々・山下紙器)、障害者福祉作業センター(つむぎ館)のほかに、ホームヘルプセンターやグループホームなどの事業を運営しているが、その施設を一カ所にまとめず、あえて区内に点在させている。まちの中の隣近所に、障害のある方があたりまえに“そこにいる”ことの大切さを知ってもらいたいと荒川さんたちが考えるからだ。



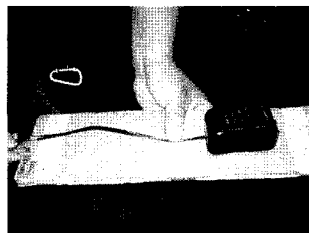
創奏のスタッフ、富吉さん(右)と小澤さん



去年から一人暮らしを始めたという渡辺さん

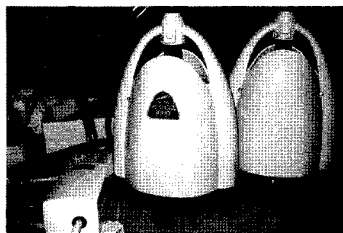


ビリーバンパンの『白いブランコ』などのやさしい曲が森田さんの十八番



同じ長さでコードを切るように工夫されたスタッフ手製の補助ツール

城東区関目にある(株)パグの「スーパー風呂パンス1000」のほぼ完成品までを委託されている



介護者家族 癒しの旅

初冬の京都へ、 家族同士の交流と旬のお料理を楽しむ小さな旅



今回初めて参加された船津泰彦さんが写真提供してくださりました。とても楽しく、次回もぜひ参加したいとおっしゃっています。

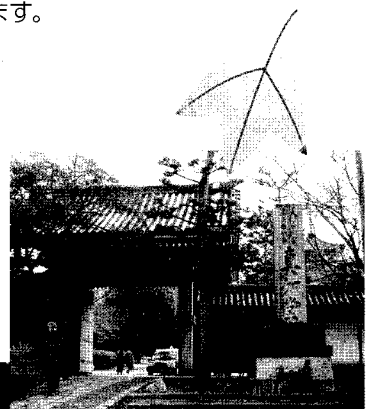
日頃、高齢者の介護をなさっている家族の方にリフレッシュしていただくため、昨年12月9日、初冬の京都を訪ねる日帰りバス旅行が行われました。

このバス旅行は、毎年1回、他区5区との共同開催で実施されてきたものですが、今回より城東区社会福祉協議会の単独開催となりました。その記念すべき第一回は、京都の聖護院御殿荘(史跡旧仮皇居)で旬の料理を楽しみながら、家族同士の交流を深めるというものでした。

平安神宮にほど近いところにある聖護院は、皇族の方が代々の門主を務められた格式高い門跡寺院で、その一郭を旅館として開放した聖護院御殿荘では、季節の料理のほか、入浴や足湯を楽しむこともできました。

聖護院御殿荘に着くと、真如堂への散策にいらっしゃる方と、御殿荘でのんびり

りされる方に分かれまして。食事の後の交流会では、足湯に浸かりながらほっこり、ゆっくり、お互いに介護に関する悩みを話し合いました。相談員に相談するのは異なり、同じ立場で話を聞いてもらえるということで参加者たちには大好評。終了後の参加された方々へのアンケートから、「初めて参加して、こんな会があるのだなと感動の一日でした。普段の生活から離れて楽しい時を過ごさせていただきました。安い会費でご馳走、足湯、散策と楽しむことができて大満足です。もっと多くの方々に、このような会があることをお伝えしたいです」や、「他の方のお話が聞けて、良かったです。皆さん、頑張ってるっしょって、私も気が楽になりました。母に対して、もう少し優しくなれそうです」といった感想をいただいています。



「城東区介護者家族の集い(城東かぼちゃの会)」が発足

昨年9月、城東区内で介護をされている家族の会(代表:大田伸廣さん)が発足しました。

介護に関する勉強を行うほか、会員同士が交流し、悩みを共有し話し合うことで家族の方のストレスの軽減を図ることがねらいです。通称の「城東かぼちゃの会」は、かぼちゃがいろいろな料理やデザートにも使われることから、幅広い活動を行うことをめざすことを表したものです。

【事務局】

城東区中央2-11-16 城東区社会福祉協議会内 ☎6936-1133

